

播磨町環境学習バスツアー

1. 日 時 平成24年8月19日（日） 8時30～17時
2. 場 所 朝来市（播磨ふれあいの家、多々良木川、多々良木ダム）、神河町（大河内発電所）
3. 主 催 播磨町すこやか環境グループ
4. 講 師 ふれあいエコアップ塾
5. 参 加 者 18名
6. 目 的 播磨ふれあいの家を拠点とし、多々良木周辺（朝来市）自然を親子で調査研究する。
多々良木ダムと大河内発電所しエネルギーの大切さを学習する。
7. 活動内容

多々良木ダム



【ダム堤体】



【ダム湖】



【展望台からダム全体を観察】



【ダムの堤体上を歩いて観察】



★多々良木ダム

国内最大の揚水水力発電用のダムで、上流の黒川ダムと導水管で繋がっている。また、市川と円山川の異なる水系を利用し、有効落差により水力発電（奥多々良木発電所）を行っている

水辺の生き物観察

水辺の生き物観察、川の水質を調べました。観察した生き物は全てリリースしました



【多々良木川を観察する参加者】



【女性も子供たちと水辺の観察】



【水質調査もしました！】



【観察した生き物は全てリリース】

★観察出来た生き物



- ・サワガニ ・ヌマエビ ・カワニナ
- ・ヨシノボリ ・メダカ ・オイカワ
- ・スジエビ ・ドンコ
- ・ショウリョウバッタ・トンボ

ふれあいの家



【ふれあいの家】



【入口の池にはカワニナを育成】



【食事をしながらの意見交換会】



【休憩中は昔遊びを楽しみました】

バスの中



【ダムクイズと虫クイズに挑戦】



【元気よく答える子供たち】

★手作りクイズ

クイズ形式で楽しく発電用ダムや身近な虫について学びました。

大河内発電所



【大河内の歴史を学びました】



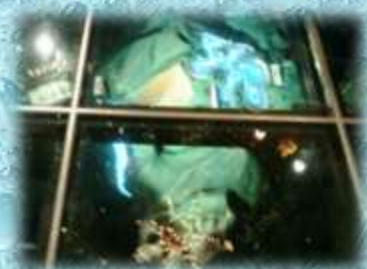
【地下発電所で説明を受ける参加者】



【当日は一基稼働】



【巨大なシャフト】



【ミュージアムでも学びました】



★大河内ダム

明治時代につくられた太田池を活用した揚水型水力発電用ダム。自然に配慮し、発電所も地下280メートルに建設され、建設時にも民家は一件も水没は無い。PR館のエルビレッジ・おおかわちでは、発電について、子供たちにも分かりやすく展示していました。

7. 参加者の感想

- 多々良木ダムの上を歩いた事、川遊びで水生生物とのふれあい、大河内発電所見学、全て楽しかった。水力発電所見学はとても良い企画だと思いました。
- 発電所見学が良かった。川遊びが出来て良かった。今度は、ふれあいの家も宿泊してゆっくり来たい天気が良くて良かった。
- 水の冷たさ、気持ちよさ等、体で感じる事が出来ました。子供たちは普段、川に入る事が無いので良い体験になりました。大河内発電所の役割や発電方法が見学出来て勉強になりました。両方とも水がきれいだと感じました。
- 多々良木川での生き物観察と自然の中で満喫出来、久しぶりに子供に帰って楽しむ事が出来ました。子供たちも川遊びと生き物観察が出来、楽しい時間を過ごしていました。大河内ダムでは、揚水発電のしくみがわかりましたが、子供たちにはちょっと難しかったかもしれません。しかしながら、ご時世にあった電気に関して考えさせる事は少し出来たものと思います。
本日は色々とお世話になりました。ありがとうございます。お疲れさまでした。